

CONTENTS

推薦のことば	2
はじめに	3
高維持力機能総義歯製作法のフローチャート	7
高維持力機能総義歯についての Q&A	8
CHAPTER 1 概論	11
総義歯治療／高維持力機能総義歯とは／高維持力機能総義歯を成功に導く 5つのポイント	
CHAPTER 2 印象採得に必要な解剖学	17
義歯床辺縁を設定する解剖学的指標／上顎の維持に関する解剖学／上顎総 義歯の維持を向上させる工夫／下顎の維持に関する解剖学	
CHAPTER 3 総義歯の維持力	35
維持力／印象採得で得られる維持／維持力を阻害しない安定を考慮した咬 合付与	
CHAPTER 4 診査・診断, 前処置	49
総義歯新製時の診査／前処置	
CHAPTER 5 印象採得	61
一次印象にて使用する材料／アルジネート印象材のルール／アルジネート 印象材の硬さによる印象体の違い／総義歯用既製トレー／ストッパーの付 与と辺縁の調整／熱可塑性トレーを使用したアルジネート一次印象採得／ アルジネート印象材の練和法と一次印象の採得法／個人トレーを用いた無 圧的印象採得／二次印象にて使用する材料の寸法変化／個人トレーの製 作／トレーの試適／閉鎖維持／筋圧形成(筋形成)の材料／筋圧形成(筋形成) の一例／顎堤吸収条件に応じた印象採得法の選択とまとめ／石膏注入の注 意点	

CHAPTER 6 規格模型の製作と診断と咬合床製作 121

模型の規格化／義歯製作のための規格模型の観察：上顎／義歯製作のための規格模型の観察：下顎／規格咬合床の製作

CHAPTER 7 咬合採得 143

総義歯における咬合採得／総義歯の顎位／総義歯における咬合再構成／一次咬合採得／人工歯選択／フレンジテクニック／一次咬合採得での顎位の設定／一次咬合採得でのライトタッピング下顎誘導法／リップインデックスの印記／咬合器／一次咬合採得模型の咬合器への付着／咬合平面の咬合器上での修正／水平的顎位の設定／ゴシックアーチ装置の装着／ゴシックアーチ描記の術式／ゴシックアーチ描記の診断

CHAPTER 8 人工歯排列 205

Model analysis (模型分析) とその目的／模型分析をすべき事項／上顎に対する下顎の三次元的位置／顎堤の咬合圧支持領域 (Stable zone) と咬合圧支持不安定領域 (Unstable zone) の位置／人工歯の歯軸 (咬合支持領域 [Stable zone] への咀嚼力のベクトル) の設定／歯科用模型診断用レーザーマーカー (Model analyzer Divineguide・モデルアナライザー・ディバインガイド)／人工歯排列／前歯部排列／臼歯部排列／歯齦形成 (歯肉形成)

CHAPTER 9 レジン成型・総義歯完成・調整 231

試適／床用レジンの重合と成型精度／咬合器上での咬合調整／コンディレーターバリオ半調節性咬合器を使用した咬合調整／総義歯調整

CHAPTER 10 治療用義歯 261

治療用義歯とは／治療用義歯製法／治療用義歯で採得する「機能印象」とは／治療用義歯を用いたダイナミックインプレッション／顎位のリハビリテーション／コピーデンチャーの製作／治療用義歯調整終了後／ゲルパーレジストレーションのための準備／仮床試適／フェイスボウトランスファーとレジストレーションの描記／レジストレーション後から総義歯完成までのラボサイドワーク／おわりに

CONTENTS

治療用義歯を用いた高維持力機能総義歯の製作に使用する器材……	305
おわりに……	306
APPENDIX 索引……	307
著者略歴……	313

コラム「もっと詳しく」

①フレンジテクニック(Flange technique)とは 023／②口蓋突起の窪み 024／③義歯性線維症 028／④機能的印象時の注意点 031／⑤舌の違和感がない舌房研磨面形態 031／⑥分子間力(分子間結合)とは 038／⑦一次印象採得時で得られる基礎維持 040／⑧トレーの調整で使用する材料 079／⑨トレー試適時の注意事項—口角炎など— 079／⑩アルジネート印象採得時の注意 088／⑪上顎結節部に骨隆起があるときの印象採得法 092／⑫小帯部トレーの調整での注意 100／⑬印象圧について 114／⑭吸盤装置と吸着維持 114／⑮閉鎖弁の厚みの違い 115／⑯基礎維持の重要性 115／⑰イミディエイトサイドシフト(Immediate side shift)や後退運動(Retrusive movement)を起こした患者における有歯顎補綴物製作と無歯顎総義歯製作の違い 148／⑱カンペル平面の定義の変遷 148／⑲コンディレーターバリオ半調節性咬合器が誕生したきっかけ 169／⑳リマウントを行い咬合平面板に修正した咬合平面を再設定する理由 182／㉑ゴシックアーチ描記法とは 185／㉒二態咬合で人工歯排列を依頼する場合 202／㉓アクリルレジンの切削・研磨・保管における注意点 250／㉔「ふだんは痛くないが、食べ物を噛むときに痛む」場合の調整法 252／㉕軟性裏装材を扱うときの注意点 278／㉖レジン成型後にリマウントして削合調整する理由 302